

◆ 日本化学会年会がやって来る ヤア！ヤア！ヤア！

2018年3月20日(火)から23日(金)まで、第98回日本化学会春季年会が日本大学理工学部 船橋キャンパスで開催されます。毎年、1万人以上のケミストが集う本学会ですが、参加登録の際に手渡される手提げ袋のトリアをちょこっとお教えします。手提げ袋の前面に企業広告がプリントされていますが、この広告、実はダイセルのキラルカラム製品が20年以上前から掲載されているのです(へえ・へえ・へえ)。20年以上にわたって、日化年会の3ないし4日間、1万人以上の研究者・技術者の皆さんが、ひとところでダイセル・キラルカラムの広告を携えて、最先端ケミストリーの議論をされているって考えてみたら、結構凄いですよね。(おそらく)日本、いや世界で唯一の『日本化学会年会手提げ袋蒐集家』を自負するわたくしめがコレクションを披露させていただきます。もちろん今年の日化年会手提げの広告もダイセルキラルカラムです。3月20日を待たず、このメルマガをご覧頂いている方へ特別にひと足早くお見せしますね。 ラッキー♪(大西あ)

一挙公開！ 日本化学会年会手提げ袋コレクション (画像をクリックすると高解像度版が見られます)



時代はダイセルの *i*CHIRALシリーズカラム
多糖誘導体耐溶剤型キラルカラム

CHIRALPAK[®] IH/IH-3 新発売

ASタイプの耐溶剤型キラルカラム
CHIRALPAK[®] IH、従来のコーディング剤が2.5μmのシリカゲルに比べて孔径を細くし、多糖誘導体耐溶剤型を実現。多糖誘導体耐溶剤型キラルカラムの先駆者。

DAICEL

株式会社ダイセル chikan@daicel.com

化学会年会に参加される皆さん、ことしの紙袋はこのデザインです！
んっ？IH-3ってなんだろう？
…と思われた方は、ぜひともブースにお越し下さい

ダイセルは紙袋の広告だけではなく、毎年 展示ブースを出展しています。そこではキラルカラムをはじめとした当社製品ラインナップや新製品について最新の情報を提供させていただいております。当社製品のこともっと詳しく知りたい！どんなカラムを使ったらよいか相談したい！などお考えの方は、ぜひブースにお立ち寄りいただき、ご相談ください。営業部員のみならず、研究員も(たまには開発センター所長も)待機しておりますので、技術的なご相談にもお応えいたします。もちろん当社製品に関するご意見・ご要望なども承っております。では、展示ブースでお会いしましょう！(芦澤)

日本化学会
第98春季年会(2018)
付設展示会

2018
会期 **3.20 火~22 木**
※年々(1)27日(2)28日

会場 日本大学理工学部 船橋キャンパス
(理工スホーツホール)
千葉県船橋市若志野台7-24-1
<http://www.csj.jp/nenkai/98haru/>

◆ 日本薬学会第138年会併催展示会にて新製品のセミナーを行います

2018年3月25日(日)から28日(水)までの4日間の日程で、日本薬学会第138年会在金沢市で開催されます。利便性を考慮して、会場は金沢駅周辺に集約させたとのこと。駅東口につくられた荘厳な鼓門ともてなしドームが年会ホームページの表紙を飾ります。

さて、その薬学会併催の薬科機器展示会「新技術・新製品セミナー」にて、3つの新製品を紹介します。今号ではセミナーに先がけて概要を掲載しますので、ご興味をお持ちでしたら、ぜひご一読下さい。(宮澤)

会場：石川県立音楽堂・交流ホール（展示会場内）

日程：3月26日(月)～3月27日(火) ※ダイセルのセミナーは26日です



YS-08 3月26日 14:20～14:40 「ダイセルから新規ポリマー系HILICカラムのご提案」(発表：上山 芳記)



キラル分離でお馴染みのダイセルが、これまで培ったポリマー系分離剤の知見を活かした新規アキラルHILICカラムをご提案します。当日は入社3年目で学生の頃からHILICに携わっております上山がご紹介させていただきます。今回のカラムで使用されている高親水性テトラゾールポリマーは高い水分保持能を有しており、これに基づき各種親水性化合物に対して強い保持能力と選択性を発揮します。このユニークな特性を武器に、様々な分野で多数の親水性化合物の分析に新風をもたらす可能性を秘めたカラムです。今回、本カラムの基礎的なクロマト挙動、各種アプリケーションデータ、応用例をご紹介することで、皆様の予想を超える高いポテンシャルを実感頂きたいと思っております。

YS-10 3月26日 15:10～15:30 「新規耐溶剤型多糖系キラルカラムIH」(発表：吉田 賢一)



8番目の*i*CHIRALシリーズ、耐溶剤型多糖系キラルカラムCHIRALPAK® IHは、コーティング型キラルカラムASと同じキラルセクター(アミローストリス[(S)- α -メチルベンジルカルバメート])であり、ASタイプのユニークな分離特性を維持したまま、溶剤耐性を付与したキラルカラムです。中でもラクタムやラクトン類への不斉識別能力が高く、他の*i*CHIRALシリーズで分離困難な化合物を、IHは分離します。さらに優れた耐溶剤性を有しており、コーティング型では使用できない溶剤(移動相)を用いることで、ASよりも優れた分離、特に高い分取効率が見られます。本セミナーでは、大阪出身の開発担当の吉田がCHIRALPAK® IHの高いポテンシャルの実例をご紹介します。またブース対応もしております、お気軽にお立ち寄りください。

YS-12 3月26日 16:00～16:20 「続々登場、第5弾1.6 μ m多糖系キラルカラムID-Uのご紹介」(発表：小野 真平)

一昨年販売を開始したキラル“U”シリーズに第5弾製品が加わります。その名も“CHIRALPAK® ID-U”。特異な分離特性を有し、多くの皆様からご愛顧を頂いております“CHIRALPAK® ID、ID-3のキャラクターを継承しつつ、これに1.6 μ m粒子径の特徴である超高理論段数性能を足し加えた製品です。本セミナーでは、“U”タイプの優れた特長を3 μ mカラムID-3と対比させながら、多数のアプリケーションデータとあわせてご紹介いたします。

★★ 緊急報告 ★★

このたび、ダイセルCPIカンパニーは当社SFC用カラム「DAICEL DCpak SFC シリーズ」の製品名を変更いたしました。

DAICEL DCpak SFCシリーズはSFC条件だけでなくHPLC条件でも分離が可能であり、キラル化合物以外の分析で広範囲にお役に立てると考えております。仕様・性能に変更はありませんが、HPLC条件での使用も前提に、名前を新たに提供いたします。

改めましてよろしくお願いいたします。

旧名称	新名称
DAICEL DCpak SFC-A	DAICEL DCpak PBT
DAICEL DCpak SFC-B	DAICEL DCpak P4VP

【編集後記】第10号のキラルニュースは化学会・薬学会の年会特集でしたが、とうとう大西の日化年会手揚げ袋コレクションが日の目を見るときがやってきました。各年の製品や出来事への思い出が蘇ります。さて年会といえば、昔の人間なので今の発表風景を見ると隔世の感があります、パワポで発表資料を講演直前まで修正できるなんて…自分の頃は学会の3日前に泣く泣く実験の手を止めて、ロットリングで反応式を手書きして、それをOHPシートにコピーして…いやあ、時代が変わりましたね。将来はどんな風になるのかしら？脳内化学式がそのまま投影されたりして…それはちょっと怖いかもしれない。(大西あ)

発行元：株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

TEL : 03-6711-8222 FAX : 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB

TEL : 06-7639-7221 FAX : 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル : 0120-780-104

HP : <https://www.daicelchiral.com/>